

## 東京都台東区母子生活支援施設さくら荘の指定管理者候補者の選定結果について

東京都台東区母子生活支援施設さくら荘指定管理者再選定審査会の審査結果を踏まえ、以下の団体を指定管理者候補者とするものである。

### 1 対象施設

名称：東京都台東区母子生活支援施設さくら荘

施設内容：施設概要

敷地面積 714.014 m<sup>2</sup>

鉄筋3階建て(1階の一部、2階、3階の一部)

1階 玄関

2階 玄関、居室、事務室、学習室、相談室、静養室、集会室

3階 居室、倉庫

事業内容

- ・入所者の保護及び生活指導、生活支援に関する業務
- ・施設・附属設備・物品の維持管理、環境の整備に関する業務
- ・安全管理に関する業務
- ・その他区長が必要と認める業務

### 2 指定管理者候補者

名称：社会福祉法人 愛隣団

所在地：東京都台東区根岸五丁目15番3号

代表者：理事長 布施 英雄

主な業務内容：保育所の経営

### 3 指定期間

平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間

### 4 選定の経過の概要

平成26年6月11日 子育て支援特別委員会

(指定管理者の選定方法の報告)

9月4日 指定管理者指定申請書受理

9月25日 第1回審査会(対象施設の視察及び審査基準の決定)

10月17日 第2回審査会(書類審査及び選定)

## 5 選定手続き

### (1) 選定方法

台東区指定管理者制度運用指針3(3)に規定する継続の場合の特例【別紙】を適用し、現行の指定管理者を公募によらず再選定する。

### (2) 公募によらない選定の理由

入所者それぞれに合わせた生活支援、児童に対する学習支援など、きめ細かなサービスが行われており、入所者の内職受注や就労、生活習慣の改善、児童の高等学校合格など、具体的な実績に結びついている。

退所者に対しても、生活や就業の相談、受験勉強の指導など、多様なアフターケアに力を注いでおり、退所者からの信頼を得られている。

利用者の安全確保や防災対策にも積極的に取り組み、毎月の清掃活動への参加や納涼会の共催、防災マップ作りなどを通し、地域との信頼関係を築いている。

平成23年度における福祉サービス第三者評価では、BCP(事業継続計画)の整備、地域や関係機関との連携などが高く評価され、適正な運営状況が確認されている。

### (3) 審査手順

外部有識者と区職員による指定管理者再選定審査会を開催し、申請者から提出された事業計画書等について審査をした。区は、審査会の審査結果を踏まえ、指定管理者候補者を決定した。

## 6 選定委員会構成員

	氏名	役職等
委員長	松原 康雄	明治学院大学副学長、社会学部教授
委員	三枝 恵真	弁護士、子どもの人権専門委員
委員	清水 充子	民生委員・児童委員協議会 副代表会長
委員	箱崎 正夫	企画財政部経営改革担当課長

## 7 審査基準

基本項目	細目(審査内容)	審査の視点
区の求める管理水準の確保	施設の設置目的に合致した管理運営	施設の管理運営に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
		地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
	施設の維持管理計画	具体的な維持管理計画となっているか。安全、快適等が念頭に置かれているか。
	区民の平等利用の確保	公の施設としての役割を踏まえ、区民の平等利用に留意されているか。

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
	人員の配置計画	施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
		施設の管理運営にあたる人員が合理的に配置されているか。
		有資格者などの配置は適切か。
		労働法令の遵守や、雇用・労働条件への適切な配慮がなされているか。
サービス向上への取組	利用者に対するサービスの向上	利用者の要望・意見・苦情等を把握し、改善に結びつける方策がとられているか。
		利用者のために有益な情報提供を適時かつ十分に行えるよう考えられているか。
		定期的に評価し、改善に結びつける方策がとられているか。
	自主事業	自主事業の内容が、施設の設置目的に合致しており、かつ利用者にとって魅力的なものとなっているか。
		支出の抑制が図られているか。
	管理・運営についての提案	施設の現状を正しく認識し、今後の施設のあり方について具体的かつ適切な提案があるか。
運営効率化への取組	管理経費の効率化	効率的な運営を行うための実施可能な提案があるか。
		管理運営に支障が生じない、現実的な経費見積もりがなされているか。
		清掃、警備、設備の保守点検などの業務を再委託する場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫されているか。
		効率的な管理運営のための創意工夫が見られるか。
危機管理・安全確保の取組	緊急時対策・防災対策	緊急時の対応を適切に行うための対策が講じられているか。
	個人情報の管理	個人情報の管理体制は適切か。
職員育成の取組	職員の研修計画	職員の専門的知識・技能を向上させる職員研修計画となっているか。
その他施設固有の性質等による項目	入所者・退所者に対する支援	個々の入所者に合わせた支援計画に基づき、母親に対する具体的な支援がなされているか。
		個々の入所者に合わせた支援計画に基づき、子どもに対する具体的な支援がなされているか。
		退所者に対するアフターフォローは適切に行われているか。

## 8 審査結果

### (1) 得点

審査項目		配点	指定管理者候補者
書類審査	区の求める管理水準の確保	80点	66点
	サービス向上への取組	100点	80点
	運営効率化への取組	20点	13点
	危機管理・安全確保の取組	40点	32点
	職員育成の取組	20点	13点
	その他施設固有の性質等による項目	120点	96点
採点総合計		380点	300点
得点率(%)【合格基準70%以上】			78.9%

### (2) 指定管理者候補者の主な提案内容

- ・母子の社会的自立を促すため、母親の就労支援を積極的に行うとともに、経済的な生活設計ができるよう支援していく。
- ・企業とタイアップし、入所・退所児童がさまざまな体験を通じて広い視野を持てるよう、キャンプや施設見学等の行事を行っていく。
- ・施設内で毎月行っている避難訓練のほか、こども園やこどもクラブ等近隣機関との合同避難訓練も行っている。今後も大規模地震を想定した訓練を行っていく。
- ・省エネ、省資源に努めるとともに、入所児童に対しても節電や環境配慮について考えるエコロジー活動を継続していく。

### (3) 再選定審査会における主な意見

- ・第三者委員が毎月施設を訪問し、入所者の意見を聞き取る取組が評価できる。
- ・資格を取るために専門学校に通う母親に対する支援、病後児保育など、非常に手厚い支援が行われている。
- ・退所して孤立しがちな母子に対し、継続的に連絡を取って見守ることで、母子の相談先となっており、適切なアフターフォローを行っている。
- ・地域との交流が行われており、災害に強い地域づくりのために尽力している点が評価できる。